

みんなの声



組合は、働く人の労働環境を守る、という大切なミッションを果たすべく組織の中で重要な働きをもっています。組合のもう一つの魅力は、学校種や専門を越えての交流行事がさかんなことです。懇親会では楽しいクイズと賞品が準備され、心楽しいひと時があります。毎年3月には退職者を送るコンサートが有志により催されます。歌やピアノ、弦楽器など心をこめてお送りするこの行事は、私が組合に入るきっかけになりました。

LA学群 浅井 亜紀子

私の前任校は、創業者の直系世襲が4代続いて全てを支配していた家族経営の小さな学園でした。学生数激減で経営が大きく傾いた時、30代から50代の多くの専任教員が、紙切れ一枚で次々と首を切られました。組合は存在せず、皆が泣き寝入りし、抗議の声さえ上げられずに退職させられてゆきました。桜美林学園教職員組合は、自分の保身だけを考えるのではなく、厳しい立場にいる職場の同僚に思いを巡らすことのできる、普通の感覚を持った常識人たちの集まりです。もっともっと多くの人たちに、ぜひ組合に入ってもらいたいと思います。

LA学群 大中 真



私が高校教員として勤めたのは、桜美林高校は空前絶後の新入生900人超の18クラス（通常は9クラス！）という年でした。当然教員も不足し、急遽採用された人も大勢いました。その巨大学年が在籍中の3年間だけ、という期間限定の専任も何人かいたようです。それが、組合の働きかけで3年経過後も継続勤務することができることになったと聞きました。安心して働くには組合の存在は大きいなあ、と思います。また、普段接することの少ない職員や大学の先生方との交流（飲み会？）があるのも大きな魅力です。

高校教員 永井 香

みなさんこんにちは。組合のイメージといえば、労働条件、賃金、雇用などのシビアで難しい問題ばかりをとりあげ、暗いイメージをお持ちの方も多数いらっしゃるのではないのでしょうか。しかし、組合のイメージはそれだけが先行して伝えられていることはとても悲しいことだと思います。

私は現在大学所属の職員ですが、高等学校、中学校、幼稚園の教職員の方々とも幅広くお付合をさせていただいております。その中、桜美林学園を愛してやまない方々が多数いることを知ることができました。この人間同士の交流こそが組合の根幹にあると思っています。是非、組合での付き合いをとおして、自らの職場を知り、また、「人」を知る機会を得てみては如何でしょうか。

大学職員 松ノ下 昭人



最近、教員では任期制が、又職員では契約型の雇用が一般化し、教職員の身分が極めて不安定になってきていることは周知のことと思われる。こうした中で、組合は果たして教職員の身分・雇用を守ることが出来るのか、心配されている教職員も少なくないことでしょう。しかし、私の40年余りの長い経験からハッキリ言えますことは、理事会は、決して進んで教職員の身分を守ってはくれない、ということです。いろいろ手は打ってはみたものの、結局はうまくゆかず、雇用・身分を守る最後の砦は組合しかない、ということは、これまでの幾多の例が明らかにしてきています。

また、ここ数年、驚くほどの権力集中のガバナンス（管理・統治機構）は、教職員にとって、見過ごすことができない事態となりつつあります。私達は、今こそ、多くの教職員が組合に結集し、教授会との連携を図りながら、本学園が明るく、生き生きとした働きがいのあるところとなるよう力を合わせて頑張りたいと思います。

名誉教授 永瀬 順弘

組合の年間活動の紹介

桜美林学園教職員組合のおもな1年間の活動

組合の1年間の活動は、給与や労働条件の向上を求める「春闘交渉」を軸として進められています。また、組合への加入・未加入に関わらず、教職員からの労働相談を随時受け付けています。

【10月】 定期大会

定期大会は、組合の最高意思決定機関であり、毎年10月に開かれます。ここではその年の春闘交渉を総括して、成果と今後の課題を明らかにした上で、次期の執行部を選出します。



【12月】 忘年会

組合員だけではなく、**組合未加入の方も**大歓迎です！！

みんな
楽しそうだね！



団交のほうが楽しいわよ～♪



【12～1月】 春闘アンケートの作成・実施

組合活動の出発点は、職場の現状の問題点や教職員が日々感じている不満を把握することにあります。アンケートでは、給与・労働条件、管理運営のあり方など多数の項目について、教職員の生の声を調査します。

【2～3月】 要求書(案)作り

アンケートの結果を踏まえて、要求作りに取り組みます。教職員が抱えている不満は、解決を求める正当性・必要性があるか否か、社会的な妥当性はあるか否か、といった観点から検討され、要求へと高められます。この要求は、組合活動の生命ともいえるものです。



他にも、囲碁・将棋クラブの活動などがありますよ。

いろんな活動をしているんだね！！



【3月】 送別会・音楽会

退職される組合員を送り出します。



【4月】 臨時大会

4月下旬の臨時大会にて、執行部が提案する要求書(案)について討議し、最終決定します。最終決定された要求書を、大会終了後に理事会に提出します。

【5～7月】 春闘交渉

理事会から回答書を受け取って以降、およそ2ヶ月にわたる春闘交渉が始まります。執行部が交渉の主担当になりますが、他の組合員も応援に駆けつけ、団結力を背景に、要求実現を目指します。

【8月】 教育研究集会（日本私大教連主催）

組合は、東京私大教連に加盟しており、その上部組織である日本私大教連が主催する教育研究集会に毎年、組合員を派遣しています。

ここでは、全国の私大教職員組合が集まり、経験の交流や討議を行います。

春闘とは？

春闘とは、「毎年」「春」という特定の時期に集中して全産業別規模で、賃金引上げ、労働条件の向上を求めて交渉を行うという日本独自の労働運動の方式です。日本の労働組合が企業別に組織されているために生じる弱点を克服するために、1955年から始まりました。

東京私大教連、日本私大教連とは？

東京私大教連の正式名称は、東京地区私立大学教職員組合連合といます。1都9県の私立大学・短大の教職員組合を組織体制とする連合体であり、2012年1月現在、67組合が加盟しています。東京地区のほかに、北海道、東海、大阪、京滋、九州地区にも私大教連があり、これら6地区の私大教連によって日本私立大学教職員組合連合(日本私大教連)が結成されています。



組合費はいくらぐらいですか？

組合費は基本給の0.8%です。基本給が30万円の人は月額2,500円で、上限は5,000円です。他の大手私大は1.0~1.5%のところが多く、他私大と比べると安く抑えてあります。お得です！

組合費は何に使われているのですか？

組合費は主に組合の運営（事務経費や専従職員の人件費）や諸活動（組合ニュースの発行や会議費など）に使われています。これらの内容は定期大会で会計報告をして、承認を受けます。

組合は特定の政治団体と関係があるのですか？

桜美林学園の組合は、勤労者としての利益を守るために、教職員が自主的に集まって作った団体です。私たちは、様々な考えや信条の違いを認め合い、みんなが一致・協力できる職場の要求を実現するために活動しています。もちろん、特定の政党や政治団体とは一切関係ありません。

組合には誰でも入れますか？

桜美林学園で働く人なら、原則として誰でも入れます。組合に興味を持ったなら、お気軽に近くの組合員に声をかけて下さい。加入を強制することは決してありませんし、退会の自由も100%保証されています。

組合員になると、組合の仕事をいろいろやらなければならないのでしょうか？

毎年選ばれる執行委員が中心となってその年の組合活動を牽引しますが、もちろん、それぞれの組合員の希望や事情を考慮しないで、組合の仕事を押しつけることはありません。でも、組合の活動をすれば、学内のこともいろいろ分かるし、他の部署の人とも親しくなれるし、楽しいことも多いです。

組合員になると不利益になりませんか？

組合員であることを理由に、不当な配置転換をしたり、差別的な処遇をすることは、明確な「不法行為」であり、雇用者の方が罰せられます。もちろん、組合も全力で組合員を守ります。桜美林学園教職員組合は、そのような「不当労働行為」が起こらないように絶えずチェックしていますし、また理事会側も、組合員だからといって不当な取り扱いをしないことを了承しています。

お問い合わせ

〒194-0294
東京都町田市常盤町3758 其中館1F
電話 042-797-8531
内線 2526
メール kumiai@obirin.ac.jp

桜美林学園教職員組合

加入申込待ってま〜す！

一緒に桜美林学園の未来を作っていきましょう！！

